

JA全農おおいた「労働力支援（新たな現場支援）」から学ぶ

# 今までの求人活動では発見できない人材を どのように発見し戦力化できたのか？

「求人を出しても応募者が来ない」「季節変動する求人はもっと厳しい」…。農業やサービス業、商業、製造業等の中小企業にとって、人材確保がかつてなく深刻になっています。そんな中、大分の新たな人材チャレンジ「労働力支援」の取組みが成果を上げ、農家の年収600万円超のアップにつながっています。人材（労働力）支援をどのように工夫したのでしょうか？「農作業で副業」という案内のとおり、仕事のハードルを下げ、必ずしも農業を希望する人材（従来の就農希望者）でなく、農作業に従事して稼ぎたい、求職準備をしたい「幅広い人材」がターゲット。多様な人材を集め、チームで農作業を行う（請負）「パートナー企業」という仕組みを工夫しています。

雇用情勢はかつてなく低い失業率が続く一方で、「ワーキングプア」「ミッシングワーカー」といった「求人に反応しない」層を拡大させ、これら就労で悩む求職準備者は中心都市や首都圏に流出しています。大分チャレンジは、この「求人に反応しない」=企業等からは「見えない」人材を可視化することができました。参加する若者や女性の中には、副業というチャンスを活かして次のキャリアを準備する者も多いと言います。悩める求職準備者が求職者として巣立っていきます。もちろんパートナー企業の正社員への選択肢もその1つです。

今回の情報交換会では、大分チャレンジの取組みと、若者支援から生まれた株式会社泉州アグリをクロスさせながら、「求人に反応しない」人材=求職準備者の発見と支援の現状と課題を探ってみます。

※泉州アグリについては裏面をご参照ください。

**日時** 2019年3月19日(火) 午後1時30分～

**会場** A´ワーク創造館(大阪地域職業訓練センター) ホール

〒556-0027 大阪府大阪市浪速区木津川2丁目3番8号  
JR環状線「芦原橋」駅より徒歩5分

**報告** ①地方就労・自立支援の動き～農業分野における人材・労働力～

JA全農おおいた・園芸部直販課課長 花木 正夫氏

株式会社 菜果野アグリ部長 白石 実氏

株式会社 泉州アグリ取締役 太田 光昭氏

コメンテーター：京都大学大学院農学研究科特定準教授 横田 茂永氏

進行：A´ワーク創造館 西岡正次

②まち・ひと・しごと創生本部事務局から

地方創生の取組み まち・ひと・しごと創生本部事務局

**定員** 80名

**参加費** 無料(要申込み)

主催：A´ワーク創造館(自治体連携推進会議事務局)

協力：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局、全国農業協同組合連合会 大分県本部  
一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク

『今までの求人活動では発見できない人材をどのように発見し戦力化できたのか?』

## 参加申込書

■申込み方法：下記問合せ先まで FAX または郵送にてお申し込みください。

■定員に達し次第募集を締め切らせていただきます。

### 【お問合せ先・会場】

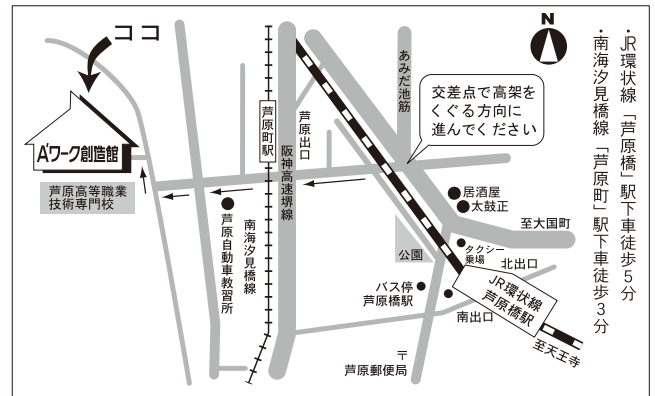
A'ワーク創造館 (大阪地域職業訓練センター)

〒556-0027 大阪市浪速区木津川 2-3-8

Tel : 06-6562-0410 (担当: 西岡・森田)

Fax : 06-6562-1549

Email : plat@adash.or.jp



### ■株式会社 泉州アグリ

2001年に若年者就労支援を目的に、NPO法人おおさか若者就労支援機構が誕生しました。2005年より国の若者自立塾、地域若者サポートステーションなどの事業、2010年にはニート状態の方にむけたNPO法人内でアグリ事業部を設立。2015年にはNPO法人から、農業法人と就労支援会社の機能を持つ社会的企業としての(株)泉州アグリを創設し、大阪府泉佐野市を拠点に6次産業に取り組む。現在、地方創生事業の「都市と地方をつなぐ就労支援カレッジ事業」も行い、都市部で農業を学び、青森県弘前市、石川県加賀市で農業体験を実施し、2居住などに取り組んでいる。

A'ワーク創造館 (大阪地域職業訓練センター)

FAX: 06 - 6562 - 1549

氏名	ふりがな	所属・職名
ご連絡先	ご住所 〒	
	TEL	FAX
	Email	